

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	利用者との関わりから得た情報が各記録に散在し、整理できていない。	知り得た情報が整理されており、誰が見ても分かり易く継続性のあるケアができる。	・センター方式のA-1、B-3、C-1-2、D-1、D-2様式を活用し、利用者の情報を集約する。	3ヶ月
2	26	アセスメントから介護計画作成、モニタリングの一連の流れが曖昧となっている。	アセスメントから介護計画作成、モニタリングの一連の流れを職員全員が理解し、職員全体で介護計画に沿った日常のケアに取り組める。	・アセスメントにセンター方式を活用し、介護計画を作成する。 ・3カ月に1回、本人、家族、職員全員でモニタリングを行い介護計画とケアの取り組みを共有する。	6ヶ月
3	34	救命講習以外に緊急時における初期対応などの勉強会ができていない。	職員全員が、緊急時の対応や知識を習得し、急変や事故対応など緊急時には、冷静な判断と適切な対応ができる。	・訪問看護に講師を依頼し、急変時の対応などの研修会を開催する。 ・定期会議にてヒヤリハット、事故報告の対策検討を毎月行う。	12ヶ月
4	6	コンプライアンスの研修で身体拘束についての読み合わせを行ったり、職員一人一人に身体拘束をしないという意識はあるが、より深い知識や理解の機会が少ない。	日常から「気づき」を意識し、時に自身を振り返りながらケアに取り組める。	・年間の研修計画に「身体拘束」の研修を計画し、年1回は実施する。	12ヶ月
5	33	本人や家族の意向を汲み取り、看取りまで法人全体で丸となって対応しているが、ハード面で伴わない状況がある。	本人にとって、より良い暮らしが継続できる。	・事業所でできること、できないことをしっかりと説明したうえで本人、家族、職員とでその人にとって何がより良いのかを話し合う機会をもつ。	12ヶ月